



しが旅のススメ



戦国時代の武将達は、誰の下につくか、誰に信を置くかで運命が変わりました。一度の間違いが滅亡につながる乱世において、加藤清正は正しい選択をした勝ち組と言えるでしょう。清正は、若くして羽柴（豊臣）秀吉に仕え、賤ヶ岳の戦いで武功を勝ち取り、その後、豊臣家の重臣として熊本城を築きます。関ヶ原の戦いでは徳川家康の東軍につき、肥後52万石の大大名として天寿を全うします。

■ 山崎山城跡（彦根市）

清正や信長も見た風景



所が今回紹介する彦根市稲里町の山崎山城跡（市指定文化財）です。

荒神山に隣接する小高い丘の上に造られた山崎山城は、織田信長の馬廻衆（親衛隊）であった山崎片家が築いた城です。発掘調査では、石垣をめぐらせた山頂の主郭より、やぐら跡などが確認されました。

清正は城主の片家の娘を妻とし、嫡男の虎熊の死後、妻の弟の山崎百助を養子としています。親密な関係から、折に触れて妻の実家であったこの城を訪れたことが想像できます。若き日の清正は、愛知川の対岸にそびえる壮麗な安土城、天主や眼下に広がる湖東平野を目にしたことでしょう。

山崎山城跡主郭のやぐら跡 彦根市稲里町で
山崎山城跡から見た安土山



山崎山城跡を紹介するホームページはこちら



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

◇ 【アクセス情報】JR河瀬駅から徒歩45分。名神高速道路湖東三山スマートインターチェンジ（IC）から20分（無料駐車場あり）。

山崎山城跡からの眺望に、加藤清正・織田信長・山崎片家ら、戦国武将に思いをはせてはいかがでしょうか。

（県文化財保護課・北原治）

し、山崎山城に籠城します。明智方の大軍を前に降伏します。明智側についた結果、負け組となった片家ですが、清正らと信を結んでいたこともあり、許されて豊臣家臣となります。

山崎家は関ヶ原の戦いでも西軍に属して敗北しますが、本能寺の変と関ヶ原の戦いの2度の戦いで敗者となつて生き残った唯一無二の戦国大名家です。香川県にある丸亀城の石垣は江戸時代、片家の孫の山崎家治が築いたものです。